平成26年度当初予算　予算要求シート

整理番号	03 － 006	マスタープラン 3つの挑戦	－	マスタープラン 施策番号	7 － 1 － － －	局・課名	総務局　行革推進課
区分	その他一般施策						

（単位　千円）

事　業　名	行政評価推進事業
関連事業	

	平成24年度決算額	平成25年度予算額	平成26年度要求額
事　業　費	2,092	2,728	2,604
事業期間	H18　～　H	全体事業費	

事業目的

市が実施する事務事業について、その必要性や有効性・費用対効果、担い手等の観点から検証することにより、最少の経費で最大の事業効果の創出を目的とする。また行革推進課が行う２次点検について、外部の専門的視点を活用した評価機能の構築を図り、事務事業評価システムの実効性を強化する。「みんなの審査会」については、その実施を通じて、市政への市民参加の促進や市政の透明性の向上並びに市の説明責任の徹底を図る。

今年度要求のポイント

・事務事業評価システムの強化を図るために必要となる外部有識者にかかる経費を計上する。
・みんなの審査会について、これまでの実績を踏まえ委託料をはじめ所要の経費の削減を行った。

事業内容

【事務事業の総点検】
　市が実施する全ての事務事業について、ＰＤＣＡマネジメントサイクル手法により、事業所管部局が１次点検を行うとともに、行革推進課が点検項目を設定し、２次点検を行っている。
　１次点検結果、２次点検結果は「事務事業の総点検シート」として「市政の見える化」や「説明責任の観点」からも市ホームページで公表している。
　平成２６年度は、２次点検に外部の専門的視点を活用した評価機能の構築を図る。
【みんなの審査会】
　市民参加による議論を通じて、市の事務事業について、その要・不要だけでなく、事業の具体的なあり方や実施手法等の検討を行う。
　平成２５年度は市民参加のさらなる促進を図るため、市民審査員の審査時間の拡大などの改善を行ったところであり、平成２６年度についても同様の枠組みで実施する予定。
【行政評価に関する研修会の実施】
　職員の行革意識の向上のため、人材開発課とも連携して研修会を開催する。

主な要求内容

（単位：千円）

項目	25年度予算	26年度要求額	内容・積算等
謝礼金	679	729	審査会（司会・検討委員・手話など）
謝礼金	0	122	外部有識者　謝礼
謝礼金	0	46	行政評価に関する研修会　講師謝礼
旅費	0	91	交通費等
食糧費	104	106	お弁当（審査会）、お茶（審査会他）
印刷製本費	284	214	審査会当日冊子印刷
通信運搬費	393	384	審査員募集案内等郵送料
筆耕翻訳料	252	352	会議録作成（審査会・総点検【新規】）
保険料	16	10	託児保険
委託料	1,000	550	動画配信、音響設備設営
その他			
合計	2,728	2,604	

スケジュール（経過及び今後展開）

【経過（～25年度）】	【26年度】	【今後（27年度～）】
事務事業の総点検（事務事業評価） H25.5～7：1次点検・7.12公表・10月～：2次点検 みんなの審査会H25.7.6～7	事務事業の総点検（事務事業評価） 事務事業に対する2次点検の機能拡充 みんなの審査会	事務事業の総点検（事務事業評価） 事務事業に対する2次点検の機能強化 みんなの審査会

その他　特記事項

取組実績を踏まえて、外部評価の効果的なあり方について検証を行う。